

カリキュラム

機構施設名：岡山職業能力開発促進センター

実施機関名：株式会社日乃目

| | | |
|-----------|-------|--------------------------|
| A.バックオフィス | 新技術活用 | GX(グリーンTRANSフォーメーション)の推進 |
|-----------|-------|--------------------------|

| | |
|---------|--|
| コースのねらい | 持続可能な環境への配慮を強化し、社会的、経済的な持続可能性を追求する取り組みとしてグリーンTRANSフォーメーション(GX)の推進が謳われている。この講習をとおして、持続可能なビジネス戦略の策定と実施に必要な知識を習得する。 |
|---------|--|

| 講義内容 | 「基本項目」 | 「主な内容」 | 訓練時間(H) |
|------|-----------|--|---------|
| | 1 GXの基本概念 | (1) GXの概要 グリーンTRANSフォーメーション(GX)とは、排出削減と産業競争力向上の両立を目指す取り組みのことである。用語と歴史的背景及び科学的根拠についてもそれぞれ解説を行い、自社が実施しなくてはならない動機づけを掴んでいく。 (2) GXの事例 GXに取り組む企業事例を学ぶことで、自分にとって関係のない話から、自分事になるようにする。 【演習】グループワーク | 1.0 |
| | 2 GXの戦略 | (1) GXを意識した今後の戦略の立て方 GXは、業種や規模感によって、戦略が変わるので、それぞれのケースに応じてどのように戦略を立てていくのか方針を考える。組織づくりとプロジェクトの進め方について学。 (2) GXを意識した自社の戦略を考える。 自社がサプライチェーン上のどの部分に位置し、どのように対応すれば優位性を得られるかの方針を立てる。【演習】グループワーク | 1.0 |
| | 3 GX推進策 | (1) エネルギーについて GHGプロトコルに基づいたCO2排出量の積算の方法について学ぶ。エネルギーにはどんな種類があり、自社でのエネルギー効率向上をどのように行うのが良いのかを考える。再生可能エネルギーについて学ぶ。また、これらを用いたPR方法についても考察 ^{オズ} (2) GX実現へ向けた取組 GHGプロトコルに基づいた具体的な計算方法の習得のため実際に演習をする。また、PR方法についても具体案として、アクションプランを策定する。 【演習】グループワーク | 4.0 |
| | | 合計時間 | 6.0 |